

オフセット・クレジット（J-VER）制度における方法論と
我が国における IAFMLA メンバーによる認定分野の暫定的な対応

平成 25 年 3 月 19 日現在

<我が国における IAFMLA メンバーによる認定分野>

プログラム	認定分野	サブカテゴリ
JIS Q 14064-2 プロジェクト妥当性確認	1. GHG の削減プロジェクト（エネルギー由来）	1-a 再生エネルギープロジェクト 例 風力、水力、太陽光、太陽熱利用
		1-b バイオマス利用プロジェクト
1-c エネルギー効率改善プロジェクト		
1-d 排熱回収プロジェクト		
1-e コージェネプロジェクト		
JIS Q 14064-2 プロジェクト検証	2. GHG の削減プロジェクト（工業プロセス）	2-a HFC/PFC 削減プロジェクト 2-b N2O 削減プロジェクト
	3. GHG の削減プロジェクト（家畜）	3-a N2O 削減プロジェクト
	4. GHG の吸収プロジェクト（森林）	

認定事業開始日	認定分野	サブカテゴリ	UNFCC ※2	オフセット・クレジット（J-VER）制度における方法論	
平成 22 年 7 月 7 日	1	1-a	-	E015	小水力発電による系統電力の代替
				E024	太陽光発電の導入による、系統電力代替
		1-b	-	E001	化石燃料から未利用の木質バイオマスへのボイラー燃料代替
	E002			化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替	
	E003			木質ペレットストーブの使用	
	E004			廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用	
	E005			下水汚泥由来バイオマス固形燃料による化石燃料代替	
	E007			薪ストーブにおける薪の使用	
	E018			廃棄物由来のバイオガスによる熱および電力供給のための化石燃料代替	
	E021			熱分解による廃プラ油化燃料・ガス化燃料の燃料利用	
	E025			石炭から未利用のバイオマスへのセメントキルン燃料代替	
	E027			魚油由来バイオマスによる化石燃料代替	
	E031	廃油等由来の再生燃料油の製造・利用			
	1-c	-	E008	情報通信技術を活用した、輸送の効率化による燃料消費量削減	
			E009	情報通信技術を活用した、検針等用車両による燃料消費量削減	
			E010	高効率照明の利用	
			E011	ボイラー装置の更新	
			E012	空調設備の圧縮機の更新	
			E013	フリークーリング及び外気導入による空調の省エネルギー	
			E014	アイロン装置の更新	
			E017	ファン、ポンプ類の換装またはインバーター制御、台数制御機器の導入	
			E019	ヒートポンプの導入	
			E023	デジタルタコグラフの装着によるエコドライブ	
			E026	屋上緑化による空調の省エネルギー	
			E028	カーナビゲーションシステムを利用したエコドライブ支援システムによる CO2 排出削減	
			E029	海上コンテナ輸送に関わる国内トラック輸送効率化	

		1-d	-	E030	下水汚泥脱水機の更新
				E006	排熱回収・利用
		1-e	-	E022	廃棄物処理施設における熱回収・発電による廃棄物のエネルギー利用
				E016	コージェネレーション設備の導入
未定※1	-	E020	古紙廃プラ固形燃料（RPF）の製造・利用		
平成 23 年 4 月 1 日	2	2-a	11	I001	液晶製造工程における SF6 から COF2 への使用ガス代替
				I002	温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入
	3	3-a	-	L001	低タンパク配合飼料利用による豚のふん尿処理からの N2O 排出抑制
				L002	家畜排せつ物管理方法の変更
				A001	硝化抑制剤入り化学肥料の投入による茶園土壌からの N2O 排出抑制
				A002	水田へのわらすき込みから堆肥施用への転換による水田からのメタン排出削減
	4	-	-	R001	森林経営活動による CO2 吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）
				R002	森林経営活動による CO2 吸収量の増大（持続可能な森林経営促進型プロジェクト）
				R003	植林活動による CO2 吸収量の増大

※1 当面の間は、認定分野 1 に対する認定申請が受理されていることにより代替される。

※2 気候変動枠組み条約におけるセクトラルスコープを指す。